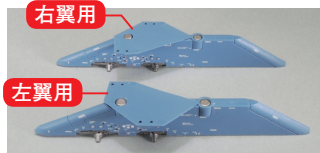


# F-2の機体に ウエポンや増槽を 取り付けよう

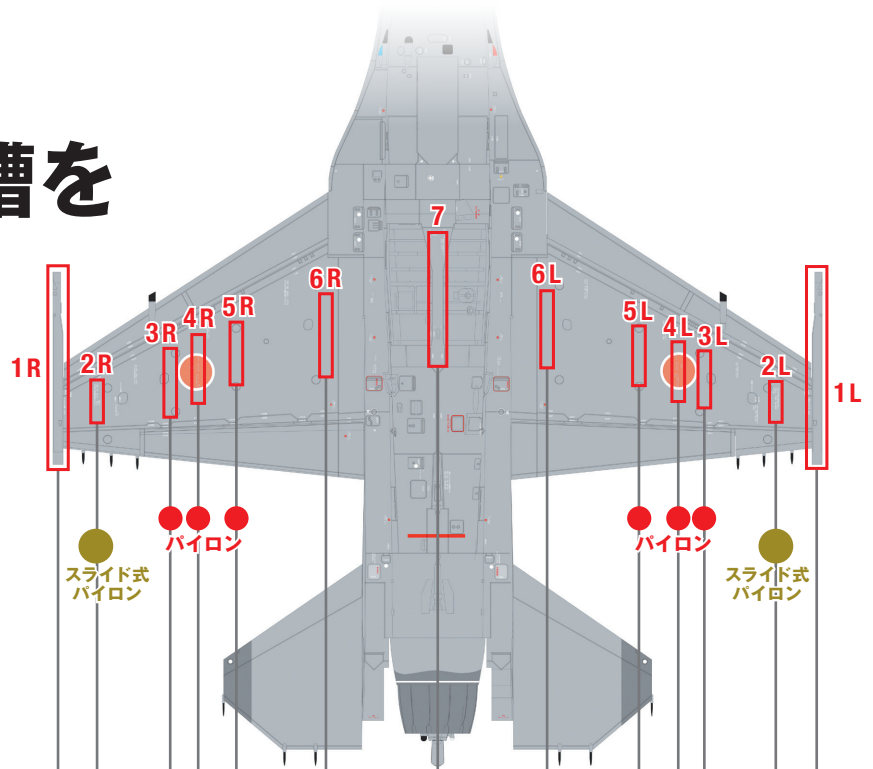
## ウエポン・増槽の取り付け位置

図の翼端、主翼裏面、胴体下の数字の場所に、ウエポンや増槽を取り付けることができる。ミッションに応じてウエポンを取り付けてみよう。

3R～5R、3L～5Lには、第76号で組み立てたパイロンのレールランチャーを外して、左右を確認して使用しよう。



※3Rと4R、3Lと4Lは一緒に使用することはできません。



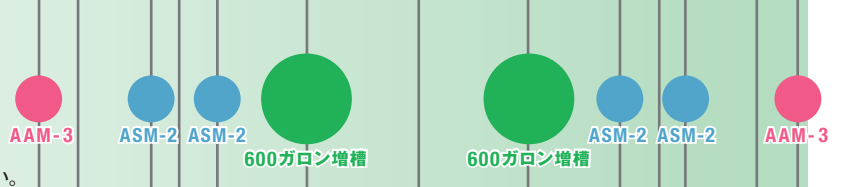
### ■ 空対空装備の一例

対空戦闘時には、AIM-7やAAM-3などの空対空ミサイルを使用する。胴体下には300ガロン増槽を搭載しよう。2Rと2LのAAM-3にはスライド式パイロンを使用しよう。  
※スライド式パイロンは第79号で組み立てています。



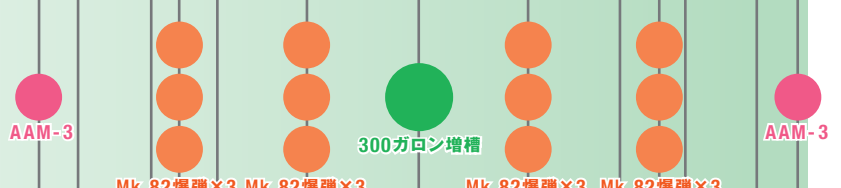
### ■ 空対艦装備の一例

対艦戦闘時の装備にはASM-2などの対艦ミサイルを搭載しよう。600ガロン増槽をふたつ装備することで、航続距離も長くなる。AAM-3はいざという時の自衛用ミサイルとなる。  
※ASM-2にはパイロンから外したレールランチャーを使用してください。



### ■ 空対地装備の一例

対地攻撃時の装備にはMk.82爆弾を使用する。パイロンにトリプルエジェクターラックを使用することで最大12発のMk.82爆弾が搭載できる。胴体中央には300ガロン増槽、翼端には自衛用AAM-3を搭載しよう。  
※トリプルエジェクターラックは第77号で組み立てています。



ここでは取り付けの一例を紹介しています。ミッションを想定して自由に組み合わせをお楽しみください。

